

2025

夏

No.661

岡山県社会福祉



そうじゃ子育ての駅ほのぼの利用の様子（該当記事 P.4 ～ 5）

特集 special feature

福祉人材の定着・確保に向け、
誰もが働きやすい職場環境づくりの推進
～介護福祉士等の就労に関する意識調査結果を受けて～

CONTENTS

| | |
|-----------------|----|
| 県内地域福祉活動の取組レポート | 4 |
| そうじゃ子育ての駅 ほのぼの | |
| 県社協ニュース | 6 |
| 赤い羽根共同募金 | 11 |
| 「ふくし」の仕事人たち | 12 |



社会福祉法人

岡山県社会福祉協議会

URL: <https://www.fukushiokayama.or.jp>

Facebook @fukushiokayama

Instagram @okayamakenshakyo



福祉人材の定着・確保に向け、誰もが働きやすい職場環境づくりの推進

介護福祉士等の就労に関する意識調査結果を受けて

意識調査結果を受けて

本会の目指す姿

高齢者の増加と生産年齢人口の減少が進む中で、将来に渡って質の高い福祉サービスを安定的に確保していくことが求められています。

本会では、志をもって福祉職を選択した人たちが、それぞれの職場で力を発揮し、やりがいを感じながら働き続けることのできる職場環境づくりを目指し、次の3つの事項に取り組んでいます。

①職場内における人材育成の支援

各階層に応じた研修会（ティーチング、ストレスマネジメント等）や定着力向上の出張講座を実施し、職場内での人材育成を支援しています。

②人材育成・定着に向けた体制構築や多様な働き方など働きやすい職場環境への支援

すまいる宣言制度などを活用し、働きやすい職場環境づくりへの積極的な取組を促進しています。

③福祉職場の魅力発信と福祉人材の確保

社会人等を対象とした基礎から始める介護研修をはじめ、若年層を対象としたフクシラボ・職場見学ツアーなどの開催により、ターゲットに応じた福祉職場の魅力発信や多様な人材確保に取り組んでいます。

介護福祉士等の就労に関する意識調査の実施

令和6年度には、前述の①から③の事項の推進に向けて、介護福祉士等の就労に関する意識調査を実施しました。これは、岡山県内の人材の確保・定着に関する現状を把握し、課題を明らかにすることで、より効果的な対策等を進めることを目的としたものです。

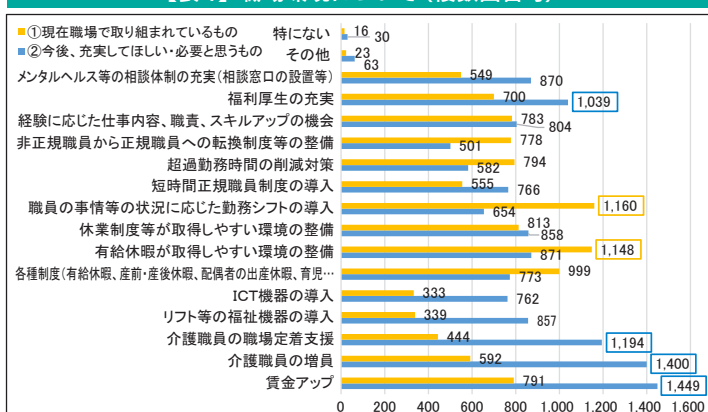
調査は、岡山県内の福祉・介護事業所（高齢・障害分野）1,733事業所を対象とし、事業所ごとに介護福祉士（3名）、介護福祉士資格を持たない介護職員（1名）、採用担当者（1名）に回答を求めました。なお、調査項目が多岐にわたるため、今号では介護福祉士を対象とした調査結果について紹介します。（※全ての調査結果は、岡山県福祉人材センターホームページに掲載）

～働きやすい職場環境づくり～

【調査1】あなたの働く職場において、①現在職場で取り組まれているもの、②今後、充実してほしいもの、

しい・必要と思うものを教えてください。（表1）

【表1】職場環境について（複数回答可）



～再就職時の仕組み等～

【調査2】離職して再就職する場合、どのようなこと、もの、ひと、しくみ、制度などがあればよいと思いますか。

すか。(表2)

【表2】

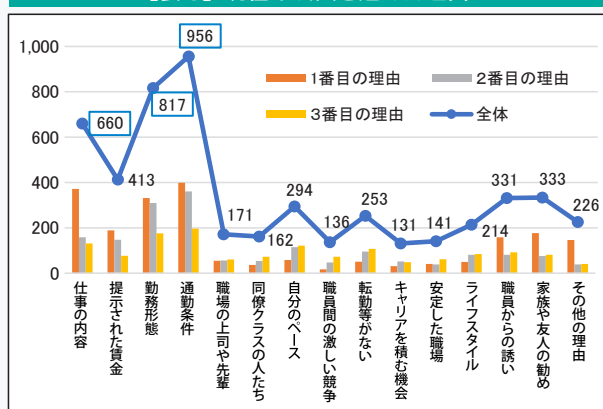
| 自由記述回答を8つの項目に分類 | 件数 |
|-----------------------|-----|
| お試し就職(3日程度～3か月)制度 | 340 |
| 処遇面(給与・手当等)の改善・充実 | 202 |
| 事前の体験や見学ができる仕組み | 154 |
| 人間関係や職場内のコミュニケーションの良さ | 88 |
| 教育制度や職員育成の仕組み | 74 |
| 有休休暇など休暇が取りやすい環境整備 | 44 |
| 子育て中でも柔軟に働ける勤務体制等の整備 | 34 |
| 人員の配置や責任の明確化など人員体制整備 | 22 |

※事前に『就職先の実態をできる限り知りたい』という回答が多かった。

～職場選択の条件等～

【調査3】現在の法人を選んだ理由について教えてください。(表3)

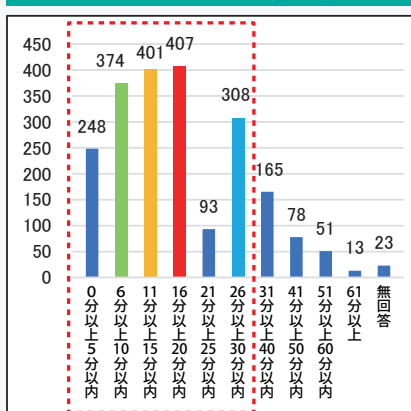
【表3】現在の法人を選んだ理由



※「通勤条件が良かった」が2割弱と最も多く、次いで「勤務形態」、3番目に「やりがいを感じた」だった。

【調査4】通勤時間(片道)を教えてください。(表4)

【表4】通勤時間(片道)



※通勤時間「30分以内」が全体の8割を占めていた。

今後に向けて

調査結果から、福祉人材の確保・定着には『働きやすい職場環境づくり』へのさらなる取組が求められていることがわかります。本会では引き続き、魅力ある職場環境づくりへの取組を推進するにあたって、今後この調査結果を踏まえ、一部事業の見直しを行い、より効果的な事業を展開していきます。

①社会人を対象とした職場体験事業の推進

再就職にあたっては、職場の実態を知りたいという意向が強いことがわかりました。そのため、従来から高校生以上を対象に実施してきた福祉職場インターンシップ事業の名称を「福祉職場インターンシップ・職場体験事業」に変更し、社会人を対象とした「職場体験」を推進することで、再就職支援やミスマッチを防止、福祉職場の定着率向上につなげます。

②ミニ就職フェアの拡充

職場選択にあたっては、通勤時間を重視する傾向が見受けられました。そのため、より身近な地域での職場選びを推進するため、昨年度、県内2地区で開催していたミニ就職フェア(昨年度名称は「ミニ就職相談会」)を、県内5地区に拡充し、9月から11月にかけて開催します。

お問い合わせ先

福祉支援部福祉人材支援班
(岡山県福祉人材センター)
TEL: 086-2226-3507

社会福祉学科 通信課程

一般養成課程(1年6カ月)

教育訓練給付金制度対象講座

スクーリングはJR福山駅から徒歩8分の穴吹カレッジ東町校舎で行います。

第37回社会福祉士国家試験合格率

新卒 **79.2%**
(全国平均 56.3%)

進学説明会

8月31日(日)、9月21日(日) (10:00~12:00)
10月19日(日)、11月15日(土)

事前予約は不要です。左記以外の日程については、Webサイトをご確認ください。進学説明会の日程以外でも随時、ご相談に応じます。



学校法人 穴吹学園

穴吹国際みらい専門学校

2026年度生 願書受付中



TEL:084-931-6857

〒720-0052 広島県福山市東町2-3-6

詳しくはQRコードからWebサイトをご覧ください

県内で福祉を学ぶ現役大学生が取材・レポートします！
県内地域福祉活動の取組レポート

そうじゃ子育ての駅 ほのぼの

「ここに来れば誰かいて、
困ったときには相談できる」
～子育て世代の居場所を目指す～



(右端) 理事長 守安さん
(中央右) ノートルダム清心女子大学
土屋さん(3年)、福岡さん(3年)
(左3名) ほのぼの 保育士の皆さん

現代日本における子育て世代は、家庭の経済状況による教育格差、仕事と子育ての両立など、様々な不安を抱えながら日々子育てに奮闘しています。しかしながら、核家族化、住民同士のつながりが希薄化する中で、育児に対する孤立感が増し、悩みを誰にも相談できず抱え込んでしまう子育て世代が多く存在しています。

地域の子育て支援施設には、そのような悩みや不安を解消し、地域で安心して子育てができるような支援体制を整えていく役割があります。

今回は、親子が安心して過ごせる居場所「そうじゃ子育ての駅ほのぼの」を運営する社会福祉法人雪舟福祉会理事長の守安さんと、保育士の吉田さんに、「ほのぼの」の魅力や、活動に対する思いを伺いました。

子育て支援に取り組み始めたきっかけ

(守安) 社会福祉法人雪舟福祉会は、もともと高齢者福祉を中心に事業を展開していました。そんな

中、総社市の子育て世帯の40%が子育てに不安や負担を感じているという現状を知りました。また、既存の支援施設が十分に利用されていない、といった課題も見えてきて、就学前の子どもと子育て世代が集まり支え合う居場所が必要だと感じていました。

加えて、ライフスタイルの変化や、新型コロナウイルスの影響で人と人とのつながりが減っているといった問題もあったため、「人とのつながりを取り戻す」をコンセプトに、岡山県立大学との共同研究プロジェクトとして「そうじゃ子育ての駅ほのぼの」を設立しました。

子育ては一人ではなく、みんなで支え合っている、そんな場所をこの地域にも作りたいと思ったことが子育て支援に取り組み始めたきっかけです。

「ほのぼの」ってどんな場所

(吉田) 「ほのぼの」は、総社駅から近く、室内プレイパークを設置しています。中は子どもが主体的に遊べる空間と、お父さん・お母さんがゆっくりできるスペースとに分けられています。利用している親子は、他のお母さんたちと

談笑している人もいれば、親子でゆっくりとした時間を過ごしている人など様々です。無理に他の利用者と関わらなくても良い雰囲気づくりに取り組んでいて、それは「既存の施設はママ友グループで利用している人が多くて、一家族だけでは利用がしづかった…」といったお母さんの声が多かったからなんです。「親子だけでも利用しやすい」といったところが、ほのぼのの最大の魅力だと思っています。



(吉田) 利用は未就学児を対象にしている、保育士や保健師等の子育ての専門家も常駐しているため、多様な育児情報を得ることができ、いつでも相談できる環境が整えられています。

昨年4月から平日を含め週3、4日営業していて、定期的に親子で楽しめるワークショップやフリ

「マーケット、撮影会等の季節によるイベントも随時行っています。」



(守安) 口コミやSNSの影響から、今では総社市だけでなく岡山市や倉敷市、中には県外の方まで幅広く利用されています。

また、今年の4月1日から、療育を必要とされる就学前の児童を対象とした児童発達支援事業所「ほのぼののび」を開設しました。児童発達支援・放課後等デイサービスを一体として展開し、子育て支援の拠点としての機能をさらに強化していきたいです。

今後の展望と課題

(吉田) これからは、もっと子どもの月齢や発達に合わせた遊びやおもちやを充実させていきたいと考えています。

さらに「ここは実家のように、いつでもふらっと立ち寄れる場所」「困ったときに助け合える場所」と、より安心して来られる施設を目指しています。

また、「母親はこうしなければいけない」というプレッシャーを抱えているお母さんたちを、もっと支援していきたいです。交流が得意ではない方にも「ここなら安心して行ける」と思ってもらえるような、敷居の低い場づくりも、今後の大事な課題です。やってみたいこととしては、お父さんの参加をもっと増やしたり、地域のお年寄りや学生とも子育てを通じてつながる場を作ったりすることにもチャレンジしたいです。

みんなへメッセージ

(吉田) 子育てはお母さんだけのものではなく、地域全体で支えていくものだと思います。実はちよつとした関わりが、子育て中の親御さんたちにとつてとても心強い支えになります。

たとえば、道ですれ違ったときに「かわいいね」と声をかけてもらえるだけでも、お母さんの心がふつと軽くなることがあります。子どもが泣いていても温かく見守ってもらえるだけで安心できるものです。地域の皆さんには、そんな優しいまなざしを向けてもらえるとうれしいです。

学生の皆さんにも、子どもと関

わる機会を積極的に持つてほしいと願っています。子どもと過ごす時間は楽しくて、自分の気持ちがあふれていく経験でもあります。子どもたちから学ぶこともたくさんありますし、社会のあたたかさを体感できると思います。ボランティアや見学でも大歓迎ですので、「子どもたちのいる場に行ってみようかな」と気軽に参加してもらえたら嬉しいです。

一緒に「地域みんなで子どもを育てる」温かい社会を作っていきましょう。



取材を終えて

(土屋) 子どもたちが各々自由に楽しんでいる様子が印象的でした。

壁一面のホワイトボードで自由に落書きができるスペースや建築

学科の教授が製作した木製のおもちやなど、子どもの想像力や主体性を育む場となっていました。

子どもの遊び場の減少が課題となる中、こうした子育て支援は地域含め親子の孤立を防ぐ社会資源として重要だと取材を通じて実感しました。

(福岡) 地域での子育て支援の必要性を実感しました。保護者の方が気軽に話せる場や、子どもたちが主体的に遊べる場であるための工夫がされており、利用しやすい空間だと感じました。スタッフの子育ては一人でやるものではなく、



地域全体でやるもの」という言葉が印象的で、今後子育て支援に関わる際には大切になりたいと思います。

◆お問い合わせ先

そうじや子育ての駅ほのぼの

(問い合わせ窓口)

社会福祉法人雪舟福祉会

● 総社市久代5127

☎ 0866-96-0700

岡山県社会福祉協議会 ～令和6年度事業報告・決算報告～

今号の トピックス

令和6年度は、5か年計画である「第8次岡山県社協経営・活動計画」の2年目として、4つの経営・活動方針に基づき、事業を推進しました。

なお、地域社会や県社協を取り巻く環境が大きく変化する中、地域共生社会の実現に向け、連携・協働による「地域の福祉力」を高めるため、3つの重点的取組事項を部署横断的に最優先に取り組みました。

【令和6年度における重点的取組の成果】

| | |
|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点的取組1 【コロナ禍で顕在化した支援を要する世帯に対する相談支援体制の強化】 | 特例貸付借受世帯の現状把握に努め、返還免除や猶予・償還など、借受人に応じた手続きを進め、課題解決や生活再建に向けた支援に取り組みました。また、研修等を通じて相談員の資質向上に取り組みました。 |
| 重点的取組2 【市町村域における災害時福祉支援活動の展開】 | 市町村社協による福祉的支援を切れ目なく進めることができる仕組みを構築するモデル社協を指定し、事業として実施、それを関係機関・団体と情報共有し横展開を進めました。 |
| 重点的取組3 【福祉人材の定着・確保に向け、誰もが働きやすい職場環境づくり】 | 基礎から始める介護研修と地区別ミニ就職相談会の一体的実施や、介護アシスタント事業など、介護のすそ野を広げる取組をしました。また、福祉・介護の仕事の魅力発信に取り組みとともに、「すまいる宣言制度」の認知度アップに取り組みました。 |

経営・活動方針1 「住民主体の地域福祉活動を支える基盤づくりを推進します」

目標達成率 104%

〔主な成果〕

◇市町村社協の基盤強化に向けて、地域福祉推進委員会と連携し、新たな「社協基本要項」の検討に取り組みとともに、市町村社協中期経営計画の策定を促しました。

◇包括的支援体制の構築に向けて、重層的支援体制整備事業後方支援事業を通じ、多様な主体との連携・協働の取組を進めました。

経営・活動方針2 「生活に関する包括的な相談・支援体制を推進します」

目標達成率 106%

〔主な成果〕

◇コロナ禍で顕在化した支援を要する世帯に対し、市町村社協を通じて生活課題の把握に努めるとともに、課題解決や生活再建に向けた支援に取り組みました。

◇日常生活自立支援事業や法人後見事業の実施促進、身寄りのない方の権利擁護支援に関する各種取組を通じ、総合的な権利擁護の推進を図り、県域での包括的な相談支援体制の整備につなげました。

経営・活動方針3 「福祉サービス事業者を支え、質の高い福祉人材の確保・定着を推進します」

目標達成率 101%

〔主な成果〕

◇社会福祉法人の経営課題と法人間連携等について、県内法人の参画・連携のもと、次世代の経営者（後継者）育成プログラムを検討・作成しました。

◇福祉・介護人材確保対策推進協議会を中心に、FMラジオ番組公開収録やYouTube配信、介護フェス・小中学生向け職場体験イベント等を実施し、福祉・介護の魅力

を発信しました。

経営・活動方針4 「法人経営・運営組織の機能を強化します」

目標達成率 98%

〔主な成果〕

◇法人経営の基盤強化を図るため、資金管理会議において各種積立金の運用方法を協議するとともに、積立財源の有効活用に努めました。

◇今後の具現化した人材育成を展開していくために、新たに岡山県社協人材育成基本方針を策定しました。

新任職員紹介

令和7年7月1日付で、運営適正化委員会局長が交代しました。よろしくお願いいたします。



令和7年6月30日付

| 所属・職名 | | | 氏名 |
|--------|----------|----|-------|
| 採用 | 運営適正化委員会 | 局長 | 中田 正明 |
| 旧所属・職名 | | | 氏名 |
| 退職 | 運営適正化委員会 | 局長 | 森 晃朗 |

※経営・活動方針の〔目標達成率〕＝達成上限120% 各方針の目標項目の下位にあたる事業単年度評価（事業達成率）の平均を合計したものです。なお、事業単年度評価は、基礎点70点、加算点50点の120点を上限としています。

法人資金収支計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日 (単位: 円)

| 会計並びに拠点区分名 | 収入決算額 | 支出決算額 |
|---------------------|---------------|---------------|
| 一般会計 | 4,432,975,883 | 3,654,140,375 |
| 社会福祉事業区分 | 402,057,307 | 382,941,446 |
| 公益事業区分 | 4,018,809,028 | 3,259,204,588 |
| 収益事業区分 | 12,109,548 | 11,994,341 |
| 生活福祉資金会計 | 4,090,890,186 | 900,805,609 |
| 要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計 | 81,742,026 | 11,399,240 |
| 生活福祉資金貸付事務費会計 | 903,328,799 | 757,094,400 |
| 臨時特例つなぎ資金会計 | 377,930 | 880 |

※収入決算額には、前期末支払資金残高を含み、内部取引消去前の金額を示す。

一般会計貸借対照表

令和7年3月31日現在 (単位: 円)

| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
|-------------|----------------|------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | 負債の部 | |
| 流動資産 | 802,815,634 | 流動負債 | 46,519,236 |
| 固定資産 | 20,437,733,159 | 固定負債 | 18,374,807,585 |
| 基本財産 | 30,000,000 | 負債の部合計 | 18,421,326,821 |
| その他の固定資産 | 20,407,733,159 | 純資産の部 | |
| | | 国庫補助金等特別積立金 | 1,226,983,106 |
| | | その他の積立金 | 1,418,488,211 |
| | | 次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額) | 173,750,655(△ 96,225,626) |
| | | 純資産の部合計 | 2,819,221,972 |
| 資産の部合計 | 21,240,548,793 | 負債及び純資産の部合計 | 21,240,548,793 |

※流動資産には、商品・製品額等を含み、流動負債には、賞与引当金等を含む。

法人事業活動計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日 (単位: 円)

| 会計並びに拠点区分名 | 収益決算額 | 費用決算額 |
|---------------------|---------------|---------------|
| 一般会計 | 1,305,661,032 | 1,131,910,377 |
| 社会福祉事業拠点区分 | 468,938,426 | 482,136,313 |
| 公益事業 | 824,160,668 | 637,474,576 |
| 収益事業 | 12,561,938 | 12,299,488 |
| 生活福祉資金会計 | 3,383,959,882 | 3,605,972,168 |
| 要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計 | 4,037,240 | 4,037,240 |
| 生活福祉資金貸付事務費会計 | 982,900,198 | 850,715,141 |
| 臨時特例つなぎ資金会計 | △ 54,427,070 | 880 |

※収益決算額には、前期繰越活動増減差額、国庫補助金等特別積立金取崩額、その他の積立金取崩額等を含み、費用決算額には、その他の積立金積立額等を含む。

特別会計貸借対照表 (4 会計合算)

令和7年3月31日現在 (単位: 円)

| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
|-------------|----------------|------------------------|--------------------------------|
| 資産の部 | | 負債の部 | |
| 流動資産 | 3,424,639,255 | 流動負債 | 17,600,443 |
| 固定資産 | 20,860,547,831 | 固定負債 | 67,940,424 |
| その他の固定資産 | 20,860,547,831 | 負債の部合計 | 85,540,867 |
| | | 純資産の部 | |
| | | 国庫補助金等特別積立金 | 17,564,149,225 |
| | | その他の積立金 | 6,779,752,173 |
| | | 次期繰越活動増減差額(うち当期活動増減差額) | △ 144,255,179(△ 4,054,544,117) |
| | | 純資産の部合計 | 24,199,646,219 |
| 資産の部合計 | 21,240,548,793 | 負債及び純資産の部合計 | 24,285,187,086 |

閲覧可能

事業報告書、決算書は、本会ホームページ (<https://www.fukushiokayama.or.jp/>) または本会事務所において閲覧することができます。
【お問い合わせ先】 岡山県社会福祉協議会 総務企画部 (TEL.086-226-2822)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



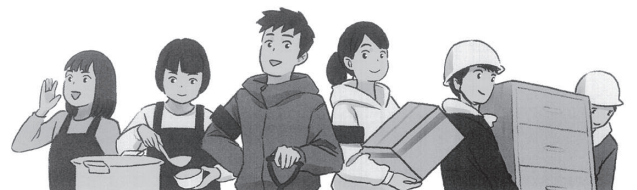
保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

| 保険金の種類 | プラン | 基本プラン | 天災・地震補償プラン |
|--------|----------------------|---------------------------------------|------------|
| ケガの補償 | 死亡保険金 | 1,040万円 | |
| | 後遺障害保険金 | 1,040万円(限度額) | |
| | 入院保険金日額 | 6,500円 | |
| | 手術 保険金 | 入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円 | |
| | 通院保険金日額 | 4,000円 | |
| | 地震・噴火・津波による死傷 | × | ○ |
| 賠償責任 | 賠償責任保険金 (対人・対物共通) | 5億円(限度額) | |
| 年間保険料 | | 350円 | 500円 |

<重 要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

岡山県社会福祉協議会 評議員・役員就任のお知らせ

令和7年4月18日開催の令和7年度第1回評議員選任・解任委員会において、新評議員が選任されました。
また、同年6月30日開催の令和7年度定時評議員会において新役員が選任され、同日開催の理事会において、正副会長等が選定されましたので、お知らせいたします。

(定数) 19名以上23名以下

(任期) 令和11年度開催の定時評議員会の終結の時まで（概ね4年）

| 役名 | 氏名 | 所属 |
|-----|--------|----------------------|
| 評議員 | 大月 仁志 | (社福) 井原市社会福祉協議会 |
| | 日下 英男 | (社福) 瀬戸内市社会福祉協議会 |
| | 山田 秀士 | (社福) 赤磐市社会福祉協議会 |
| | 山本 眞澄 | (社福) 美作市社会福祉協議会 |
| | 山下 隆志 | (社福) 浅口市社会福祉協議会 |
| | 山岡 敦 | (社福) 矢掛町社会福祉協議会 |
| | 小倉 博俊 | (社福) 新庄村社会福祉協議会 |
| | 山崎 親男 | (社福) 鏡野町社会福祉協議会 |
| | 酒井 直樹 | (社福) 吉備中央町社会福祉協議会 |
| | 阪井 ひとみ | (NPO) 岡山県精神障害者家族会連合会 |
| | 岡野 茂一 | (一社) 岡山県手をつなぐ育成会 |
| | 安達 悦子 | (一社) 岡山県介護福祉士会 |
| | 安藤 光徳 | (公社) 認知症の人と家族の会岡山県支部 |
| | 二宮 一枝 | (公社) 岡山県看護協会 |
| | 豊田 和典 | 日本赤十字社岡山県支部 |
| | 佐藤 千津子 | 岡山県愛育委員連合会 |
| | 尾崎 力弥 | (公社) 岡山県社会福祉士会 |
| | 岸本 信義 | (社福) 浦安荘 |
| | 小林 正和 | (公財) 倉敷市保健医療センター |
| | 谷川 奈美 | (社福) 旭川荘 |
| | 西崎 京子 | 備前市民生委員児童委員協議会 |
| | 内田 浩二 | 倉敷市民生委員児童委員協議会 |
| | 川田 一馬 | 総社市民生委員児童委員協議会 |

(定数) 理事：14名以上18名以内・監事：2名

(任期) 令和9年度開催の定時評議員会の終結の時まで（概ね2年）

| 役名 | 氏名 | 所属 |
|------|--------|--------------------------------------|
| 会長 | 足羽 憲治 | 学識経験者 |
| 副会長 | 内田 通子 | (社福) 岡山市社会福祉協議会 |
| | 赤畠 耕一路 | (社福) 誠和 |
| | 高山 科子 | 岡山県民生委員児童委員協議会 |
| 常務理事 | 水田 健一 | 学識経験者 |
| 理事 | 中桐 泰 | (社福) 倉敷市社会福祉協議会 |
| | 坂手 宏次 | (社福) 津山市社会福祉協議会 |
| | 山野 通彦 | (社福) 岡山県共同募金会 |
| | 藤田 勉 | (公財) 岡山県身体障害者福祉連合会 |
| | 安田 泰治 | (公財) 岡山県老人クラブ連合会 |
| | 江見 肇 | (社福) 山陽新聞社会事業団 |
| | 大原 利憲 | (公社) 岡山県医師会 |
| | 高平 亮 | (NPO) 岡山 NPO センター |
| | 大西 泰子 | (一社) 岡山県婦人協議会 |
| | 服部 剛司 | (社福) 吉備のくに福祉会 |
| | 福原文徳 | (社福) 日本原荘 |
| | 寺次 功 | (社福) 天神会 |
| | 金平 陽子 | 岡山県子ども・福祉部 |
| 監事 | 平松 卓雄 | 元岡山県社会福祉協議会 常務理事 (社会福祉事業についての識見者) |
| | 児島 正典 | 公認会計士 (財務管理についての識見者) |

《敬称略 令和7年6月30日現在》



小中学校等あいさつ運動の様子

5月12日 済世顧問制度創設日 岡山県下一斉取組

岡山県民生委員児童委員協議会では、岡山県下一斉取組として、「小中学校等あいさつ運動」を平成30年度から毎年実施しています。
民生委員制度は、大正6（1917）年5月12日（※）、当時の笠井信一岡山県知事の下、岡山県で公布された済世顧問制度が起源とされています。
今年度も、5月12日に学校や県行政、岡山県警察本部、地域の関係者等と連携し、取り組みました。

この取組は、民生委員・児童委員が、子どもたちと顔見知りになることで、見守り等の強化につなげることを目的としています。

また、当日までに、毎年岡山城前にある笠井信一元知事の銅像清掃を行っています。今年度は5月2日、協議会役員が県庁担当課の皆様、協議会事務局である県社協とともに清掃を行いました。

ぜひ、お近くに寄られた際は銅像へも足を運んでみてください。



銅像清掃の様子

※昨年度、（一社）日本記念日協会において、5月12日が民生委員・児童委員の日として登録されました。

【問い合わせ先】

岡山県民生委員児童委員協議会
事務局（地域福祉部）
☎ 086-1226-12835

令和7年度 福祉従事者研修計画一覧（8月以降開催分）

| 事業名 | 開催日 | 開催場所（方法） |
|-------------------------|---------------------|----------|
| キャリアパス対応生涯研修課程【中堅職員】 | 8月28日 29日 | きらめきプラザ |
| キャリアパス対応生涯研修課程【チームリーダー】 | 10月28日 29日 | きらめきプラザ |
| キャリアパス対応生涯研修課程【管理職員】 | 11月18日 19日 | きらめきプラザ |
| 中堅職員重点テーマ強化研修 | 9月5日 | きらめきプラザ |
| チームリーダー重点テーマ強化研修 | 9月22日 | きらめきプラザ |
| 管理職員重点テーマ強化研修 | 10月21日 | きらめきプラザ |
| ストレスマネジメント研修 | 10月6日 | きらめきプラザ |
| 苦情対応研修 | 10月17日 | きらめきプラザ |
| リスクマネジメント研修 | 10月31日 | きらめきプラザ |
| 業務改善研修 | 10月18日 | きらめきプラザ |
| メンタルヘルス推進担当者研修 | 12月8日 | きらめきプラザ |
| 認知症介護実践研修（実践者研修） | 7月～10月 （6日間×2日程） | きらめきプラザ |

| 事業名 | 開催日 | 開催場所（方法） |
|--------------------------|----------------------------------------------------|-------------------|
| 認知症対応型サービス事業開設者研修 | 9月18日 | きらめきプラザ |
| 認知症対応型サービス事業管理者研修 | ① 10月22日 23日 ② 11月26日 27日 ③ 2月5日 6日 | きらめきプラザ |
| 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 | 11月6日 7日 | きらめきプラザ |
| 介護支援専門員実務・更新（未経験者向け）・再研修 | 実務） R8年1月～5月（14日間） 更新（未）・再 R8年1月～3月（9日間） | オンライン＋ きらめきプラザ |
| 基礎から始める介護研修 | 9月3日・4日 ・13日 10月8日・9日 ・18日 | サウスヴィレッジ 百花プラザ |

※開催日・開催方法等が変更される場合がありますので、詳細は岡山県社会福祉協議会ホームページでご確認ください。

【お問い合わせ先】

福祉支援部 福祉人材支援班

☎086-226-2888

（苦情の申出・ご相談は）
岡山県運営適正化委員会
☎086-226-19400

『サービスの質や量』と続いています。
また、主な苦情内容は、『職員の接遇・対応』に関するものが約6割を占めており、『説明・情報提供』

件となっています。
苦情受付のサービス種別は、障害関係が37件と約7割を占めており、続いて、児童関係10件、高齢関係4件、その他3件でした。利用者本人からの苦情が33件と増加しており、次いでご家族から19件となっています。

令和6年度に本会で受け付けた福祉サービスに関する苦情件数は54件（5年度55件）、苦情に満たない相談件数は57件（5年度52件）で、100件を超える苦情・相談が寄せられています。

岡山県運営適正化委員会では、福祉サービス利用者等からの苦情・相談を受け付け、解決に向けて支援を行っています。

令和6年度 福祉サービスに関する苦情・相談状況
岡山県運営適正化委員会

楽しく、心地よく働ける介護職のお仕事を探します。 医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ



RISUCO

話そうよ 咲かそうよ

医療・福祉専門職 人材紹介・派遣事業 株式会社リスコ

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-1-15 岡山商工会議所ビル8階

【厚生労働省許可番号】 紹介（33-ユ-300017） 派遣（派33-300044）



0120-235-565

電話受付／平日9：00～18：00 [https:// www.risuco.com](https://www.risuco.com)





すまいる宣言法人広報部「team smile」登録法人の若手職員で構成。現場で働くリアルな声は、同世代への発信力として注目です。



笑顔で働ける福祉・介護の職場を「見える化」『おかやま☆フクシ カイゴ職場すまいる宣言』

岡山県では、働く人が安心して働き続けられる職場づくりを応援する「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」を実施しています。

福祉・介護の法人が人材育成や職場環境改善の取組を自ら宣言し、岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会が確認のうえで登録するものです（現在39法人・530事業所が登録）。登録内容はすまいる宣言ホームページで公開されています。

すまいる宣言のメリット

- 学生・求職者に：職場選びのヒントに
 - 事業所に：採用・人材定着の力強いツールに
 - 職員に：やりがい・誇りの実感に
- 福祉や介護の現場で笑顔が広がることは、私たちの暮らしの安心にもつながります。ぜひ、身近な事業所の取組にもご注目ください。

令和7年度後期申請について

▼登録申請サポートもあります
申請を考えている法人には、専門アドバイザーによる個別相談「スタート応援相談」も毎月第3水曜日に実施中。制度の進め方や事例紹介など、気軽にご相談いただけます。

令和7年度後期申請受付期間
令和7年10月1日（水）～31日（金）

詳細は「すまいる宣言」ホームページへ



【お問い合わせ先】

福祉支援部 福祉人材支援班
（岡山県福祉人材センター）
☎086-1226-13507

2026年度生（2026年4月1日学習開始）9月1日より受付開始！

社会福祉学科

社会福祉士養成
通信課程

西日本で唯一の
一般養成課程（1年コース）
※公益財団法人社会福祉振興・試験センター調べ

一般養成課程（1年6ヶ月コース）

一般養成課程（1年コース）

短期養成課程（9ヶ月コース）

精神保健福祉学科

精神保健福祉士養成
通信課程

一般養成課程（1年7ヶ月コース）

短期養成課程（9ヶ月コース）

教育訓練給付制度対象講座

専門実践教育訓練給付金の
適用コースが拡大されました！

好きを極めてプロになる

学校法人 穴吹学園
専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ

〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10

TEL.087-873-2455



詳しくは左の
QRコードから
HPをご覧ください。

どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導！

経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方

Q 役員選任には
監事の
同意が必要？

Q 監事は
評議員会に出席
する義務があるの？

Q 賞与引当金は
必ずしなきゃ
だめなの？

悩み・疑問を一斉解決！

急な
指導監査
でも…

・慌てない
・困らない
・揉めない



SCB社福サポート担当
いしはら

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

☎0120-747-824

受付時間
9:00～17:30（平日）

〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10
[HP] <http://www.ssc-scb.com>

赤い羽根共同募金



岡山県共同募金会

今年も10月1日から全国一斉に共同募金運動を展開いたします。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



赤い羽根共同募金運動は、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、皆さんが暮らしている地域の福祉活動に必要な資金を集める民間の募金運動です。

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉活動や福祉施設の備品整備、福祉団体やNPO法人等の活動費として活用されています。

あなたの町の困りごとの解決のために、奮闘している人たちがいます。誰かのために真剣に向き合っている人たちがいます。集まった募金は、そんな彼らの活動をはじめとした、地域をより良くする取り組みに使われています。



岡山県共同募金会
ホームページ



▲Web募金は
こちらから

🍒 渋川マリナクティビティ協会とコラボ決定！

この度、一般社団法人渋川マリナクティビティ協会と「寄付つき商品地域支援プロジェクト」に基づく覚書の調印式を行いました。

このプロジェクトは、同協会に所属するビーチサッカーチーム「ハレクティオ岡山」の名称やロゴマーク・キャラクターなどと、共同募金の名称等をデザインしたコラボ缶バッジを作製し、試合会場や選手が参加するイベント会場にコラボ缶バッジ入りのカプセルトイを設置し、売り上げの一部を本会に寄付して下さるといふものです。

当コラボ缶バッジは令和5年度から共同募金運動にご協力いただいている「ほっかほっか亭岡山・福山店長会」が作製協力をして下さっており、ほっかほっか亭のカプセルトイ設置店舗でも手に入れることができます。

毎年10月1日に岡山駅で開催する共同募金運動のオープニングセレモニー及び街頭募金活動への選手の皆さんの参加も予定されています。



vol. 68

「ふくし」の
仕事人たち

合同会社 28 デイサービス Soda

代表社員 理学療法士

土井 脩平さん

「そうだ、一緒にやってみよう！」
介護を起点に
心が動くまちをつくる。



ふくしの仕事に就いたきつかけを教えてください

子ども時代はサッカーをしており、けがをした際に支えてくれた理学療法士の方に憧れ、理学療法士を目指しました。大学卒業後は医療機関で勤務していましたが、旅行支援をやっている愛知県のデイサービスで旅行支援を経験し、その方のわくわくする表情やいつもより活動的に動く姿を目にし、「その人らしさや暮らしにフォーカスを当てて支えたい」と考え、現在の会社を立ち上げました。

現在の仕事内容について教えてください

理学療法士の知識と技術で、デイサービス利用者の方の暮らしを起点とした活動をサポートしています。活動では、食材の買い出しから昼食づくり、散歩や本屋・駄菓子屋の店番など、一人ひとりの趣味や思いを起点にした活動を行います。利用者の今まで過ごしてきた生活や価値観など物語をベースにしたサービスを大切にしています。

また、活動は楽しいだけでなく、機能訓練にもつながるよう、その活動をコーディネートしています。例えば、普段ご自宅では座って過ごすことが多い方には立位保持の時間を確保するために、楽しみながら立つて昼食作りができるよう声を掛けたり物品の位置などの環境調整をしたりして、心身機能にアプローチすることを意識しています。

今後について

私たちの企業理念は「介護を起点に心が動くまちをつくる」です。私

たちは介護だけを行う会社ではなく、あくまで私たち専門家もいち住民として生活し、得意とする「介護」を通して誰もが安心して暮らしていけるまちをつくることを見据えています。オープンから丸一年経過した現在はデイサービスがメイン事業ですが、そのほかいくつかの事業も展開しています。

介護の有無に関係なく誰でも旅行を楽しめる旅行事業、デイサービスの一角に本屋と駄菓子屋を設置して地域の子どもや子育て世代、学生など介護に関わったことのない方でも気軽にデイサービスに立ち寄れる販売事業、デイサービスが休みの日は大人数でデイサービスの空間を使えるレンタルスペース事業など、地域の人々が気軽に立ち寄れる場をつくるなど、地域の拠点としての取組を広げていきたいです。そして、私たちの活動を通して何となく介護のことを知っておくことで、いざ自分や自分の家族が介護にかかわるようになつた時にも安心して自分のまちで暮らし続けることができると思っています。

私たちの活動が、普段から不安なく、ちよつとわくわくしながら、暮らしやすい地域へつながると嬉しいですね。

〇次号の「ふくし」の仕事人

次号は土井さんよりご紹介いただいた方にお話を伺います。次号もお楽しみに！

【お問い合わせ先】

合同会社 28 デイサービス Soda
会 総社市総社3丁目1-14
☎ 086613310802



機関紙「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階

岡山県社会福祉協議会 広報班

■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当週の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

